

## 平成 31 年度 新部長のご紹介

部 局 名	医科学研究所	
氏 名	山梨 裕司	
職 名	所長（教授）	
任 期	平成 31 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日	
所 属	医科学研究所・腫瘍抑制分野	
専 門 分 野	分子生物学	
略 歴	<p>昭和 59 年 3 月 本学理学部卒業</p> <p>平成 元年 3 月 本学大学院理学系研究科生物化学専攻博士課程修了</p> <p>昭和 63 年 4 月 本学医科学研究所、日本学術振興会特別研究員</p> <p>平成 2 年 4 月 本学医科学研究所、助手</p> <p>平成 7 年 1 月 米国マサチューセッツ工科大学、博士研究員</p> <p>平成 10 年 1 月 本学医科学研究所、助手（復職）</p> <p>平成 13 年 3 月 本学医科学研究所、助教授</p> <p>平成 13 年 4 月 東京医科歯科大学難治疾患研究所、教授</p> <p>平成 20 年 4 月 本学医科学研究所、教授</p> <p>平成 26 年 4 月 本学医科学研究所、癌・細胞増殖部門長（～平成 31 年 3 月）</p> <p>平成 27 年 4 月 本学総長補佐（～平成 28 年 3 月）</p>	
研 究 内 容	<p>Yamanashi, Y. and Baltimore D. “Identification of the Abl- and rasGAP-associated 62 kDa protein as a docking protein, Dok.” <i>Cell</i>, 88 (1997): 205-211</p> <p>Arimura S, Okada T, Tezuka T, Chiyo T, Kasahara Y, Yoshimura T, Motomura M, Yoshida N, Beeson D, Takeda S, and Yamanashi Y. “DOK7 gene therapy benefits mouse models of diseases characterized by defects in the neuromuscular junction.” <i>Science</i>, 345 (2014): 1505-1508</p>	